

平成 18 年 6 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社エムビーエス
代表者名 代表取締役社長 山本 貴士
(コード番号 1401 福証 Q-Board)
問合せ先 管理部 部長 徳永 昌裕
(電話番号 0836-37-6585)

コンクリート構造物耐震防災に優れた高性能コーティング補修材開発に 関するお知らせ

当社は、中国経済産業局が支援致します「中小企業・ベンチャー挑戦支援事業のうち実用化研究開発事業」について 2006 年度に中国地方で 13 の研究開発計画の 1 つに選定され、補助金として研究開発費の 3 分の 2 を受ける予定となり、コンクリート構造物の耐震防災に優れたコーティング補修材の開発に取り組むことになりましたのでお知らせ致します。

記

1. 研究開発目的

近年、コンクリート構造物の耐震強度問題が注目されています。

本開発は、素材の組み合わせを工夫することにより、低価格で耐久性、施工性に優れた新しい補修材とそれを使ったコンクリート構造物の耐震補強方法を開発するものであります。

この度の研究開発は、当社が構造物の外壁補修用に開発した「ホームメイキャップ」のカラーコーティング技術の構造力学の特性を把握・改良し、本研究開発によりコンクリート耐震防災に優れた補修材として 経済性に富み、 施工性に優れた、 長期に渡って耐久性を保持する、新素材応用技術を開発する事を目的としております。

2. 研究開発内容

研究開発では、次の項目について実証研究をし、コンクリートの耐震防災に優れた新素材の応用技術としての条件を確立致します。

ガラス繊維シートの連続・複層化における構造力学の特性の変化の把握

表面保護工法のシート工法による計画設計施工方法の検討(実験測定値から、コンクリート構造物の補修条件に対する「高性能コーティングシート」の連続・複層関数を導き出し、補修構造物の要求性能を充足する新素材の応用技術として経済性、施工性、高耐久性を追及致します。)

研究開発規模は、各種組合せによる供試体を作成し、この供試体による実証試験を行うとともに、データ分析により設計施工の公式を導き出します。

3. 研究開発の成果

既設のコンクリート構造物の破壊性が、脆性的なものから靱性（耐震防災）に富んだものに変化させることが可能となります。大規模地震による構造物の崩壊に対しても、二次災害による人的被害を抑制する事に繋がります。また一方で、構造物の耐久性を向上させることで、ライフサイクルコストを抑制する事にも繋がり、今後社会基盤の整備や個人住宅の維持費用等の抑制にも貢献しトータルの経済性の追及も可能となります。

以上